

第18回岩手県中学生男女ソフトボール大会 兼
第26回全日本中学生男女ソフトボール大会岩手県予選会

開 催 要 項

- 1 主 催 (一社) 岩手県ソフトボール協会
- 2 共 催 岩手県中学校体育連盟
- 3 主 管 県北地区ソフトボール協議会 滝沢市ソフトボール協会
- 4 後 援 岩手県教育委員会 (公財) 岩手県スポーツ協会
- 5 会 期 令和8年6月27日(土)～28日(日)
(雨天の場合は主催者で協議のうえ決定する)
- 6 会 場 石鳥谷ふれあい運動公園
- 7 参加資格 (1) 令和8年度岩手県ソフトボール協会に登録した中学生チーム及び中学生クラブチームであること。
(2) 学校単位で参加する場合は東北中学校総合体育大会に出場しない学校であること。また、全国中学校大会に出場する学校チームの選手(監督・コーチを含む)ではないこと。
- 8 チーム編成 (1) チーム編成は、引率責任者1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内とすること。
(2) クラブチームの場合は、東北中学校総合体育大会に出場する選手を除いて9人以上の登録があること。(東北中学校総合体育大会に出場する選手もこの大会には参加できるが、全国中学校大会に出場する場合、全日本中学生大会には出場できないため)
(3) スコアラーとしてベンチ入りをする場合は、公式記録員の資格を有するものであること。
(4) 監督、コーチは、岩手県ソフトボール協会会員でなければならない。かつ、最低1名は、下記の指導者資格を有するものであること。
①公認ソフトボールドスタートコーチ ②公認ソフトボールコーチ1～4
(5) 資格保有者(指導者、スコアラー)の資格確認は、チームがベンチ入りする際(フィールドイングの前)に毎試合行う。その際、資格証と有資格者本人が特定できる顔写真付きの身分証を提示すること。参加者の中に指導者資格保有者がいない場合棄権とみなす。
- 9 参加申込 (1) 6月12日(金)必着で参加確認を東和中学校・大日向 巧先生まで送信すること。E-mail: o.takumi1104@gmail.com
(2) その後の申込みの仕方については、東和中学校・大日向 巧先生から連絡をする。別紙申込書(プログラム用・確認用)に必要事項を記入し、シクミネットで登録した監督、コーチ、選手の一覧表、上記の指導者資格証の写しを添えて、下記に6月12日(金)必着で申し込むこと。

〈申込先・問合せ先〉

〒020-0611 滝沢市菓子 69-42

滝沢市ソフトボール協会

事務局 太布さゆり

電話・FAX：019-688-0161 090-6852-8497

E-mail: sayuri.tshh.1637@hb.tp1.jp

- 10 参加料 1チーム 10,000円。
- 11 競技規則 (1) 2026年度(公財)日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボールルールによる。
(2) 金属スパイクの使用を禁ずる。
- 12 使用球 (公財)日本ソフトボール協会検定ゴム12インチ球(ナガセケンコー社製)とし、主催者が用意する。
- 13 競技方法 (1) トーナメント方式とする。
(2) 3回15点差、4回10点差、5回以降7点差コールドゲームとする。
(3) サスペンデッドゲームを採用する。
- 14 組合抽選 監督会議の席上で行う。
- 15 監督会議 6月27日(土)午前8時00分から大会本部(通称「樽」)にて行う。
- 16 傷害措置 出場選手が試合中に傷害を受けた場合は、応急措置のほかは責任を負わない。
スポーツ傷害保険等の加入を推奨する。
- 17 宿 舎 宿舍の斡旋は特に行わない。
- 18 開 会 式 実施しない。
- 19 表 彰 第3位まで賞状を授与する。
- 20 そ の 他
 - (1) 優勝チームは全日本大会の出場資格を得るものとする。優勝チームが全日本大会出場を辞退した場合には、準優勝チームに出場権を与え、原則として次年度の同大会への出場は認めない。また、チームには支部協会を通して報告書を提出する義務を負うものとする。
 - (2) 組合せ決定後に出場を辞退した場合には、原則として次年度の同大会への出場は認めない。また、チームには支部協会を通して報告書を提出する義務を負うものとする。
 - (3) 登録違反については、違反が発覚した時点で没収試合とする。原則として次年度の同大会への出場は認めない。また、チームには支部協会を通して報告書を提出する義務を負うものとする。
 - (4) 参加するチームは公認審判員1名・公式記録員1名を大会当日帯同すること。(2日目に試合のあるチームは、2日目も帯同すること。)審判員・記録員を帯同しないチームは、原則として棄権とする。なお、帯同審判員・記録員に係る一切の経費はチーム負担とする。
 - (5) 熱中症対策として、競技本部または担当審判員が休息を必要と認めたときは、試合を中断し休息をとる場合もある。この休憩時間は試合時間に含めないものとする。
 - (6) 荒天により試合が大会日程中に消化できない場合は、主催者が協議の上決定する。(抽選による代表権の獲得もある。
 - (7) 大会プログラムの無断転用を禁ずる。